

E-Mail : taniyama-cc@lagoon.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tvcc/>

発行人：頭島光神父 編集委員：上原敏子、上釜照美、徳永珠美

2022年 8月1日

(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

〒891-0113

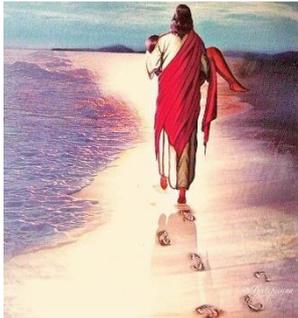
鹿児島市東谷山2-33-13

TEL・099-268-2084

FAX・099-284-5738

再度、「共に歩む」

カトリック谷山教会 主任司祭 トマス頭島神父



2019年末から始まった新型コロナウイルス感染症、そして今年2月末に勃発したウクライナ戦争、これらの大事件は、今もなお世界に衝撃を与え続けています。さらに日本では元首相の銃撃という悲劇的殺人が起こってしまったのです。こうした出来事の中にあっても時が経つにつれ何事もなかったかのように無関心になるのはなぜだろうか。世界は今や疫病、テロ、紛争、そして日常茶飯事のように殺人事件に見舞われ、多くの人の命が奪われ、これが世界の日常となって、死者にも無関心になっていく。これら人為的な出来事に加えて、人類は気象異常による自然災害と環境破壊によって、事態はさらに深刻化することをもはや避けて通ることができません。

SDGsの目標達成期限は8年後の2030年に迫り、2050年までの脱炭素ゼロは、まさに待ったなし。あつという間に過ぎ去る時間の中で、「一体、私たちは何を見、何をなすべきか」、また「教会は誰と共に歩むのか」、考えてみたい。

◆教会は誰と歩むのか

聖霊降臨以来、教会が「誰と歩むか」は明白である。キリストがこの世に来て、イエスご自身が寄り添ったのは罪人であった。イエスは「私が来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである」(マコ2:17)と言っている通りである。また、イエスの宣教の現場には、常に病と貧困に苦しむ人たちがいた。彼らの声を聴き、また癒しをお与えになったイエスの姿を見ると、教会もまた同じである。歩むべき優先には、いつも彼らがそこにいるのであり、まさに教会は彼らと共に歩んできたのであり、それはこれからも変わらない。

◆異邦人とは誰か

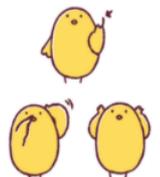
私たちが同胞をこよなく愛し、これをやり、また助けるのは当たり前である。また同時に、それは全ての人にも言えることであるが、イエスはそれを「異邦人にもしなさい」と言うのである。つまり、あなたがたは、「自分自身を愛するように、隣人を愛しなさい」(レビ19:18)と言われている通り、異邦人を排除してはならないのです。これは、旧約時代から教えられていた神の掟なのです。ですから、イエスのこの隣人愛の教えは決して新しい掟ではなく、昔からの伝統的な教えであり、貧しい人、病気の人が困っていれば、その人が外国人であるか否かに関わらず、隣人となるべき人々なのです。

◆見捨てられる人々

今、世界で起こっている様々な事柄の中で、最も悲惨なことは<社会から見捨てられる>ということです。社会の中で最も弱い立場の人が<無関心という闇>の中に葬り去られていることに気付くべきです。教皇様はこの指摘をしながら、それが私たちのような「発展した国や社会において、最も弱く弱い人々に寄り添い、世話をし、支えること」(「兄弟の皆さん」No.64 参照)に特に疎いと言っています。言い換えれば、何かの悲劇的な出来事が起こっても、その時は強い関心を示しますが、やがて冷めてしまうと、簡単に他のことに注意を払い、素通りし、無視し、ついに無関心となりはてるのです。

◆無関心の罪

コロナウィルス感染症の拡大は、一時的に世界を同じ苦しみに陥れたため、「一人が救われるためには、共に救われる道が必要だ」と知ったのです。しかし、コロナ禍に冷め始めた人々は、それぞれ別々の道を模索し始めました。まさに共に救われる道があることを一瞬、見たかに思われましたが、また元の木阿弥に陥って、再び、無関心の闇が覆い始めたのです。貧しい者たちと「共に歩む教会」が再び、彼らと歩み出すのは、一体いつのことでしょう。コロナ、ウクライナ、そして何か次の悲惨な事件でもないと、この無関心の闇から抜け出せないともいうのでしょうか。





1日 聖アルフォンソ・マリア・リゴリ教会博士
(レデンプトル会の聖人) 1696年—1787年



アルフォンソは、イタリアのナポリの貴族の家に生まれ、幼いころから母親に信仰深く育てられた。語学力に優れた彼は、小学生のころからラテン語、ギリシャ語を学んだ。法律の勉強をして、17歳には法学博士の学位を取得し、弁護士となって多くの人びとを助けた。しかしある日、必ず勝つと思われた訴訟事件に、自分のミスで負けてしまったことを機に、彼は法廷から退き、社会的地位を捨て、聖職者になる決心をした。

1726年に司祭となったアルフォンソは、有名な説教家となり、1730年にスカラに女子贖罪主会(レデンプトリスチン)を創立した。1732年には数名の同志とともに男子レデンプトル会の創立に着手し、内外からの試練に遭いながらも、1749年に教皇から正式に認可された。創立から42年間にわたり、総長として会の指導に献身し、その後13年間は、教区の司教として務めた。その間、倫理、修徳、司牧神学に関する本を数多く書いた。日本語に翻訳されたものに『完徳のしおり』『聖体訪問』などがある。また彼は、カトリック倫理神学の体系化の完成に貢献し、その著書『倫理神学』は、不朽の名著として知られている。

日本においてレデンプトル会は、代々木、鎌倉、諏訪、舞鶴、宮津、吹田、長崎、鹿児島、徳之島で司牧、施設の運営にあたり、女子の修道会レデンプトリスチン(厳律至聖贖罪主女子修道会)は、鎌倉、長崎、西都にある。

-女子パウロ会聖人カレンダーより-

14日 聖マキシミリアノ・マリア・コルベ司祭殉教者
1894年—1941年



コルベは、ポーランドの織物職人の家に生まれ、信仰深く育てられた。16歳のときにコンベンツァルのフランシスコ会に入り、1918年に司祭となった。ローマで、6人の同志とともに「無原罪の聖母の騎士会」という信心会を創立して、聖母マリアに対する信心を広めることに尽くした。その後、ポーランドに帰って月刊誌『無原罪の聖母の騎士』を発行。

1930年ゼノ修道士ら5人とともに来日し、長崎で同信心会と印刷所を開いた。月刊誌『聖母の騎士』を発行するなど宣教活動に励み、多くの人びとに感化を与えた。

『聖母の騎士』は現代でも多くの購読者を得ている。

1937年、コルベ神父はポーランドのニエボカラノフの修道院長に選任され、日本を去る。その後、第二次世界大戦の勃発により、ナチス・ドイツのゲシュタポに捕えられ、アウシュヴィッツ強制収容所に送られた。そこで、死刑を言い渡された妻子ある士官の身代わりを申し出て、餓死牢で注射を受けて亡くなった。「友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない」(ヨハネ 15.13)というキリストの愛を実践した現代の殉教者である。

日本におけるコンベンツァル聖フランシスコ会は、東京、瀬戸、春日井、西宮、長崎、湯布院、奄美にある。

-女子パウロ会聖人カレンダーより-

新触感！カカオニブクッキー

- ◆材料 15枚程度
- 薄力粉 100g
- バター 40g
- グラニュー糖 40g
- 卵黄 1個分
- カカオニブ 25g
- 塩 少々
- グラニュー糖(まわり用) 適量



-クックパッド-

ニブをカカオパウダーと間違えて購入してしまい、使い方が解らず色々探してこのレシピを見つけました。

◆ 作り方

- ① バターを常温に戻し柔らかくします。薄力粉は振るっておきます。
- ② クリーム状にしたバターに、グラニュー糖、塩を加えて混ぜて、白っぽくなったら卵黄を加えて混ぜます。
- ③ カカオニブ、薄力粉を混ぜて一塊にし、細長く形成します。ラップで巻きます。*ここでは生地をあまり練らないこと！
- ④ そのまま冷凍庫で1時間休ませます。
- ⑤ バッドにグラニュー糖をひき、生地の周りにつけます。8mm~1cm幅に切ります。
- ⑥ 170度に予熱したオーブンで15分、160度に下げて更に8分焼きます。焼き上がり余熱を取り、冷めたら出来上がり。(オーブンはご家庭で違うので焼き時間は調整してください)

カカオニブはシミ・シワ・たるみなどを予防する美肌効果、活性酸素を除去して免疫力を高める効果が期待されます。食べたらかほろ苦く感じるのは、カカオニブ特有の苦み成分で、集中力・判断力を高めます。

類は友を呼ぶ

不平ばかりいう人には、ますます不平の材料が集まる。

ひねくれる人には、物事の方も、ますますこじれてくる。

境遇とは、外から与えられるよりも、その人自身が作り出すことの方が多いものである。

ハンス・ハヌス神父様

—心に残ることばより—

—訃報—

- 5月30日 ミカエル 加藤 隆雄 様 (92歳) 6班
 - 7月7日 アルベルト 東 健一郎 様 (84歳) 2班
 - 7月13日 ミカエル 池田 憲貞 様 (77歳) 11班
 - 7月20日 ミカエル 福長 一美 様 (73歳) 9班
- 帰天された方々です。神様の御許で安らかに憩われますようにお祈り申し上げます。



2022年8月<ミサ典礼>の朗読及び先唱奉仕のお願い

読んでみてね
カトリック教会の
方向性が分かります。



猛暑から酷暑になり、どれだけ暑いかは、外に出ればよく分かります。皆さん、熱中症にはお気をつけ下さい。とにかく、この夏は、10月まで、とにかく暑いということで、もう暑いと言うのはやめましょう。ところで、この8月には、教皇大使様が来鹿されます。聖フランシスコ・ザビエル司祭の列聖400年記念ということで、司教様が呼ばれました。15日、被昇天のお祝いに、11時半からザビエル聖堂で記念ミサがあります。残念ながら、代表しか参列できませんが、列聖記念をお祈りください。

さて、この8月6日から、恒例の平和旬間が始まります。平和であることがどれほど大切か、多くの日本人が分かっていると思います。憲法改正の論議が高まる中、反対者は自衛隊を憲法に載せ自衛権を容認すれば、戦後以来の日本不戦の否定になると言っています。その通り、自衛以上の武力を持ち、交戦力保有となれば不戦の精神に反します。隣国の脅威というなら、なぜ和解と協力、そして相互間による安全保障を求めて外交政策を実行、展開しないのか。真の平和の実現のために核保有による抑止力は意味がありません。私たちは教会の立場からそれを明確に打ち出すべきです。この8月は、特に平和のために祈りましょう。ウクライナの人々はまだ戦禍の中に苦しんでいます。忘れてはいけません。世界の平和を祈り続けましょう。

また、コロナウィルス感染症は、大きな拡大を続けています。手指消毒、検温及びマスク着用を遵守しつつ、聖堂内制限は80人のままいきます。また、聖歌もこれまで通り質素に歌っていきます。今後も、ミサ及び朗読奉仕のこと、よろしくお願いいたします。

◆受付での手指消毒及びマスク着用と検温、そして署名等のカード記入に協力願います。

◆9時ミサの聖堂入場制限は80人のまま続けます(*但し、典礼奉仕者を除く)。

◆上記の人数を超えても、玄関ロビーから参加可能とします。

◆尚、泣部屋は子ども連れのご家族に割り当てられています

◆聖堂内では座席番号に、間違いなく、ご着席ください。

◆一部、窓を開けての換気、空調温度を高め(26°~27°C)に設定、稼働しています。

◆聖体拝領は一列に並び、前後 1m、間隔を空け、ゆっくりと前に、順にお進みください。



■8月の典礼の先唱及び朗読の役割分担は以下の通りです。

◇ 8月7日	年間第19主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 2/3班
◇ 8月14日	年間第20主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 4 班ば
◇ 8月21日	年間第21主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 5/11班
◇ 8月28日	年間第22主日	午前9時ミサ～ライブ配信～先唱及び朗読奉仕	● 6/7 班

★さて、新しいミサ典礼式文「ともにささげるミサ」(会衆用)が入荷しました。すでに手に入れられた方もいるかとは思いますが、教会で100冊予約注文し入荷した分は、すでに申し込み数が上回り足りなくなっています。追加注文を出していますが、来年1月まで入荷できない状態です。この会衆用はオリエンズ出版からのものですが、その他にもドンボスコ出版、またパウロ出版のものもあります、これなら追加注文できます。いずれにせよ、9月からこの会衆用を使って勉強会を開きます。9月1日(木)午後6時半から始めます。朗読担当者及び典礼奉仕係にあたる人は参加しましょう。 2022/8/1 聖アルフォンソの祝日に 主任司祭 トマス頭島 光

五つのパンと二匹の魚
浦田カズ代(絵詩)



倍増する愛
 渇く人がいる
 飢えている人がいる
 誰がどこでそんなのか
 小さくてもよい
 少なくてもよい
 差し出そう
 創造主の恵みは
 力となって活かされる
 二匹の魚が
 五つのパンが
 二千人を満たした
 あの日のように
 愛は形になると
 無尽蔵で倍増する

「いのちの扉に風が吹くとき」
 浦田カズ代 絵画・詩集より

令和4年(2022年)谷山教会08月の予定と祝日表(08月01日~08月31日)

日 時		典礼と行事	朗読奉仕者	掃除当番	班会
1日	月	記念日 10:00 聖アルフォンソ(リゴリ)司教教会博士 聖アルフォンソ記念ミサ(萩原神父) *主任司祭、大阪出張(幼稚園の研修の為3日まで)			
2日	火	6:30 朝ミサ(ボスコ神父)			
3日	水	19:30 召命ミサ(頭島神父)/時間変更あり			
4日	木	記念日 6:30 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ司祭 朝ミサ			
5日	金	19:00 初金ミサ/聖マリア教会の献堂			
6日	土	祝日 19:00 主の変容 /日本カトリック平和旬間(6日~15日まで) 年間第19の主日のミサ(祝日ミサ)		②③	教会
7日	日	6:30&9:00 年間第19主日		②③	
8日	月	記念日 6:30 聖ドミニコ司祭 朝ミサ			
9日	火	6:30 朝ミサ			
10日	水	祝日 19:00 聖ラウレンチオ助祭殉教者 召命ミサ			
11日	木	記念日 6:30 聖クララおとめ 朝ミサ			
12日	金	6:30ミサなし19:00 夕べのミサ			
13日	土	19:00 年間第20主日のミサ/聖母の土曜日		④	教会
14日	日	6:30ミサなし9:00 年間第20主日 /10:00~追悼 初盆の祈り(やすらぎドーム)/15:00~役員会	④		
15日	月	祭日 8:00 聖母の被昇天 被昇天ミサ	*聖フランシスコ・ザビエル列聖400年記念行事 ザビエル教会にて 8/15(月) 10:00~フランシスコザビエル列聖講演... 参加は代表のみ 11:30~駐日教皇大使による司式ミサ... 谷山教会より10名参加 18:00~歓迎会(サンロイヤルホテル)... 申し込み必要 7/31まで		
16日	火	6:30 朝ミサ			
17日	水	召命ミサなし	*頭島主任司祭休暇(丹後に帰省予定)		
18日	木	朝ミサなし	(16日朝ミサ後から18日夜帰宅の予定)		
19日	金	6:30 朝ミサ			
20日	土	記念日 19:00 聖ベルナルド修道院長教会博士 年間第21主日のミサ		⑤⑪	教会
21日	日	6:30ミサなし9:00 年間第21主日 / 9:00ミサ後谷山教会「のみの市」		⑤⑪	
22日	月	記念日 6:30 天の元后聖マリア 朝ミサ			
23日	火	6:30 朝ミサ			
24日	水	祝日 19:00 聖バルトロマイ使徒 召命ミサ			
25日	木	6:30 朝ミサ			
26日	金	6:30 朝ミサ			
27日	土	記念日 19:00 聖モニカ 年間第22主日のミサ(福崎神父)	主任司祭 徳之島訪問	⑥⑦	教会
28日	日	6:30ミサなし9:00 年間第22主日(福崎神父) 26日午後~29日の午後帰宅		⑥⑦	
29日	月	記念日 6:30 洗礼者聖ヨハネの殉教 朝ミサ(福崎神父)			
30日	火	6:30 朝ミサ			
31日	水	19:00 召命ミサ			

今月の行事当番班は1班です。

*8/15(月)のフランシスコ・ザビエル列聖記念行事と8/21(日)の谷山教会「のみの市」については、教会からのお知らせ(第4回司牧評議会)をご覧ください。詳しく書かれています。

ロザリオの祈り	毎週火曜日 10:00~	2, 9, 16, 23, 30日
レジオ・マリエ	毎週水曜日 14:00~	3, 10, 17, 24, 31日
聖書と教理-Ⅱ	毎週金曜日 10:00~12:00	8月はお休みです。